



《前期》2022 6/10 金 7/18 月
※前期と後期で一部展示作品の入れ替えがございます。

《後期》2022 7/22 金 9/5 月

八重櫛 道代展

YAEGASHI MICHIO
ART EXHIBITION



彼女は「ヤバイ」、
相当「ヤバイ」。
天才であると
本気で思っています。

株式会社ラルポニーCEO 松田崇弥

るんびにい美術館—ギャラリー—

開館時間 午前10時〜午後4時30分

入館料 無料

休館日 毎週火曜日・水曜日

主催 社会福祉法人光林会るんびにい美術館

お問い合わせ ーるんびにい美術館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目21-29

TEL : 01968-22-5057

Mail : museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp

URL : <https://www.kourinkai.net/museum-lumbi/>





「ねぶた祭」2001年（岩手県立美術館蔵）



「カウントダウン21世紀」制作年不詳

八重樫道代展

YAEGASHI MICHIO ART EXHIBITION

びっくりするほど大胆、びっくりするほど緻密！八重樫道代さんの作品は、むくむくと溢きそうな線に、パッと目を惹く鮮やかな色が丹念に塗り込まれていて、画面全体がエネルギッシュなパワーで満ち溢れています。

1978年、岩手県盛岡市に生まれた道代さん。子どもの頃は塗り絵が非常に好きだったけれど、実は絵を描くことはほとんどありませんでした。そんな彼女は、十代後半の頃に自宅近くで開かれていたアトリエへ通い始めたことをきっかけに絵画制作を始めます。筆致自体をおおらかに楽しむような作品が、このときいくつか描かれました。

水性マーカーを使った緻密な作品が制作の中心となっていったのは、制作の場が自宅アトリエへ移行した頃でした。母と色んな場所へ出掛け、一緒に肌で体験する。自宅アトリエで画用紙を広げてその出来事を描くとき、母との対話をとおして肌で触れた感覚を再び鮮やかにたどっていく。このような母とのイメージの往還にいざなわれ、道代さんは自分の感じた触感や空気感を丹念に描き表すことに集中しました。画面の隅々まで緻密なイメージーションを湛える作品の数々は、こうして生み出され始めたようです。

しかしその後、彼女は体調を崩し絵もまったく描けなくなります。制作の伴走者でもあった母が亡くなり、道代さんは生活の場を自宅からルンビニーへと移しました。長いトンネルの中のような年月でしたが、それでもゆっくりと元気を取り戻した彼女は、数年前からまた少しずつルンビニーのアトリエで絵を描いています。

鮮やかにきらめく色彩となってほとぼりした、道代さんの青春の輝きと家族との絆。是非じっくりとご覧ください。



「笑子畑」制作年不詳



「いろいろな形」1998年（岩手県立美術館蔵）



社会福祉法人光林会の施設



- 【交通】
- 東北自動車道花巻・花巻南インターから車で約10分
 - JR東北本線 花巻駅からタクシーで約5分
 - 花巻駅から循環バス「ふくろう号」野田十文字バス停下車徒歩約3分
 - 東北新幹線新花巻駅からタクシーで約15分

るんびにい美術館
borderless art collection

【入場無料】 開館 10:00-16:30 定休 毎週火曜日・水曜日
〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘1-21-29
【ギャラリー専用】 電話 0198-22-5057・FAX 0198-29-5058
ホームページ、フェイスブックもぜひご覧ください。



るんぶカフェ **Heart-Pit**

〈るんびにい美術館内〉11:00 オープン～16:00 ラストオーダー
【カフェ・ベーカリー専用】 電話 0198-29-5395



光林会30年の造形表現「いのちの形がみえたなら」

岩手県花巻市で「るんびにい美術館」を運営する法人による、知的障害者支援事業から生まれた美術作品約130点を収録した作品集。ジャンル分け不能な作品や創作意図そのものが謎めいた作品の数々。知的な障害のある作者の自由な精神の羽ばたきと、圧倒的な独創性に魅了し尽くされる一冊。



amazon
ショッピング